

産業の活力を
実感できるまちづくり

◆農林水産業の振興

農家経営の安定化、耕作放棄地の解消等を図るべく、基盤整備を積極的に推進するとともに、新たな米政策や農村環境保全向上対策を着実に促進し、地域の特性を活かした、高い生産性と収益性を有する農業の確立をめざします。

また、内海沿岸漁業の特性を活かした水産振興を図るため、無償貸付を受けている県水産試験場東予分場跡を活用するほか、漁港の整備、稚魚の放流や藻場づくり活動などにも取り組み、水産資源の維持・回復に努めます。



食の安全性の確保と自給率の向上等をめざした農林水産業の振興に取り組みます。(写真：県水産試験場東予分場跡)

林業につきましては「木製都市構想」の一環として、木材の地産地消を進めるとともに、水資源と併せて本市の貴重な財産である森林資源を将来にわたり確保するため、山から海までを一体的に捉え、命の源とも言える「森林」の保全に努めます。

◆商工業の振興

引き続き地域産業の振興に意を用いつつ、自然エネルギー利用型冷水・温水大量製造システムの実用化および食糧生産への適用実証に取り組みほか、食の創造館を拠点として、「水と食」をテーマとした新たな産品の開発研究やブランド化、販路開拓事業等、農商工が連携した地域産業活性化事業の推進、さらには中心市街地活性化基本計画に基づき、空き店舗の有効活用を図るなど、商業活性化や賑わいの創出に向け、精力的に取り組みます。

◆雇用対策

市内における雇用・失業情勢を注視しつつ、関係機関との連携の下、雇用の安定に努めるとともに、引き続き「Oターン推進事業」や「人材マッチング・合同就職面接会開催事業」等に取り組み、地元企業の人材確保の支援に努めます。

◆観光の振興

昨年10月、観光庁が創設されたことを受け、観光の国際化などにも視線を当てつつ、本市が有する豊かな自然、固有の歴史文化、魅力的な



▲水素いちごプラントの視察。大学・地元企業等と連携し水素エネルギーを活用した食料生産技術システムの構築をめざしています。



▲「暮らしと安全の向上」をテーマに加茂地区千町で調査活動を行う京都大学大学院地球環境学舎の大学院生と地元の皆さん。

フィールド大学構想の展開と
新しい行政システムの確立

「食」や観光資源などを素材とする観光情報の発信に精力的に取り組むとともに、「合宿都市構想」との連携による交流人口の一層の拡大をめざします。

本市は東海大学、京都大学大学院地球環境学舎、東京農業大学と協定を結び、学・官の連携のもと諸施策を展開していますが、新年度におきましては「フィールド大学構想」を精力的に展開してまいります。

なお、ご説明申し上げました諸施策を具現化するため、新年度を変革

元年と位置付け、市民の皆様からの負託に応えられる新しい行政システムを確立するため、より効率的でスリムな組織機構を構築します。

以上、平成21年度の市政運営につきまして、私の所信の一端を申し述べましたが、今後におきましても、西条全市民の融和による「市民力」と、本市の「総合力」が融合した「西条パワー」を最大限に発揮し、「西条の元氣アップ」に誠心誠意取り組んでまいり所存でございますので、議会の皆様方をはじめ、市民の皆様方の温かいご理解と一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。